

2026/04/17 (予定) 機能追加

Peppol受信フォームを作成したい 他 23 件

Ver.260331

証憑収集

Peppol受信フォームを作成したい

固定の項目に加えて、精算先から受け取りたい情報を追加したい場合に、Peppol受信フォームを作成できるようになりました。作成した受信フォームは、精算先に関連付けることで利用できます。

[\[デジタルインボイス受信\]メニュー](#)では、受信したPeppol受信フォームも確認できます。

作成方法は、目的から探す「Peppol受信フォームを作成する」をご参照ください。

追加メニュー

[取引先管理 - Peppol受信フォーム] メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

対応メニュー

[取引先管理 - 精算先 - 精算先] メニュー

[精算処理 - デジタルインボイス受信] メニュー

メインメニュー右上の  (データメンテナンス) から [汎用データ受入 - 取引先管理 - 精算先データ受入] メニュー

証憑収集アプリ (Webアプリ) で、部門や購入科目などの精算伝票の明細項目を入力してアップロードしたい

証憑収集アプリ (Webアプリ) の請求書・領収書について、証憑項目に加えて、部門や購入科目などの明細項目も入力して、アップロードできるようになりました。

アップロードした証憑は、Webアプリで承認します。なお、PCアプリや当サービスのダッシュボード「未承認状況」カードから承認する場合は、明細項目の内容は確認できません。

[\[運用設定\]メニュー](#)の [証憑収集アプリ] ページで、Webアプリ明細を「使用する」にし、使用する明細項目にチェックを付けます。

対応メニュー

メインメニュー右上の  (設定) から [運用設定] メニュー

Webアプリ [証憑アップロード - 請求書] メニュー

Webアプリ [証憑アップロード - 領収書] メニュー

Webアプリ [承認 - 承認] メニュー

法人情報

『勘定奉行クラウド』の科目を複写する機能を追加

勘定奉行

『勘定奉行クラウド』に登録されている科目を複写し、当サービスに登録できるようになりました。『勘定奉行クラウド』で科目を追加した場合に便利な機能です。

対応メニュー

『勘定奉行クラウド』から複写したマスターの仕訳コードを自動で登録する機能を追加

勘定奉行

『勘定奉行クラウド』のマスターを複写して当サービスに登録した際に、仕訳コードが自動で登録されるようになりました。

対応メニュー

- [法人情報 - 規程 - 債務管理科目] メニュー
- [法人情報 - 規程 - 債務管理補助科目] メニュー
- [法人情報 - 部門 - 部門] メニュー
- [法人情報 - プロジェクト - プロジェクト] メニュー
- [法人情報 - プロジェクト - 工程/工種] メニュー
- [取引先管理 - 精算先 - 精算先] メニュー

マスターを「無効」扱いにしたい

各マスターに有効期間を追加しました。

伝票日付が有効期間外のマスターは、伝票への入力できません。また、伝票の検索画面にも表示されません。

なお、管理資料では、有効期間が集計期間と重複していない場合でも、繰越残数がある、または集計期間内に伝票が登録されているマスターは集計対象となります。

対応メニュー

- [法人情報 - 部門 - 部門] メニュー
- [法人情報 - プロジェクト - プロジェクト] メニュー
- [法人情報 - プロジェクト - 工程/工種] メニュー
- [取引先管理 - 精算先 - 精算先] メニュー

伝票の摘要の初期値を、代入項目を使って設定できるようにしたい

[伝票摘要設定] メニューが追加され、精算伝票・支払データの件名・摘要の初期値をまとめて設定できるようになりました。

代入項目を使って、伝票や精算先などの情報を件名・摘要に自動でセットできます。

摘要の初期値を設定することで、精算伝票で毎回摘要を手入力する手間が省けます。

詳細は、メニューから探す「伝票摘要設定」をご参照ください。

追加メニュー

- [法人情報 - 摘要 - 伝票摘要設定] メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

対応メニュー

- [精算処理 - 精算伝票] メニュー
- 精算伝票が登録されるすべてのメニュー

取引先管理

【従業員】メニューが独立

[\[精算先\]メニュー](#)で従業員（社員）を登録していましたが、従業員を登録するための【従業員】メニューを新たに追加しました。

なお、これまで通り [\[精算先\]メニュー](#)・[\[精算先データ受入\]メニュー](#)からも、従業員を登録できます。

また、表記が「社員」から「従業員」に変更されました。

追加メニュー

- [取引先管理 - 精算先 - 従業員] メニュー

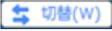
追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

対応メニュー

[取引先管理 - 精算先 - 精算先] メニュー

精算処理

【証憑アップロード】メニューで、精算伝票の入力機能が向上

- リスト上で、「債務部門」などの項目を入力したい
[精算伝票] 画面へジャンプしなくても、リスト上で「債務部門」などの項目を入力できるようになりました。
[F10: 条件設定] を押し、[証憑アップロード - 条件設定] 画面の [項目選択] ページで、精算伝票で入力したい項目を選択すると、画面に表示されます。
- リスト上で、複数の科目（明細行）を入力したい
リストの明細行を選択し、画面左下の  (切替) をクリックしてから、[F7: 行追加] または [F8: 行削除] を押し、行の追加や削除ができます。
また、次のショートカットキーでも操作できます。
 - 行追加: [Ctrl] + [+] キー
 - 行削除: [Ctrl] + [-] キー

対応メニュー

[精算処理 - デジタルインボイス受信] メニュー

[精算処理 - 証憑アップロード] メニュー

精算伝票の入力中に、精算宛先の過去の伝票を複写して登録したい

精算伝票で、部門別やプロジェクト別の入力など、入力に手間がかかる場合に、精算宛先の過去の伝票を複写して登録できるようになりました。

詳細は、目的から探す「精算宛先の過去の伝票を複写する（証憑アップロード）」「精算宛先の過去の伝票を複写する（精算伝票）」をご参照ください。

対応メニュー

[精算処理 - 証憑アップロード] メニュー

[精算処理 - 精算伝票] メニュー

証憑項目の「金額」と伝票の「精算額」の差額チェック

証憑をアップロードして精算伝票を登録する際に、証憑項目の「金額」と伝票の「精算額」に差額が発生した場合、以下のようにチェックされるようになりました。

- [【証憑アップロード】メニュー](#)では、「警告」列に「証憑項目の金額と伝票の精算額に差額があります。」というメッセージが表示されます。
- [【精算伝票】メニュー](#)では、鑑の「精算額」の欄外に、差額が表示されます。



税抜金額	消費税額	精算額	源泉予定額
500,000	50,000	550,000	0
100,000	10,000	110,000	

警告や差額が表示されても伝票の登録はできますが、差額を確認することでミスを防ぎやすくなります。

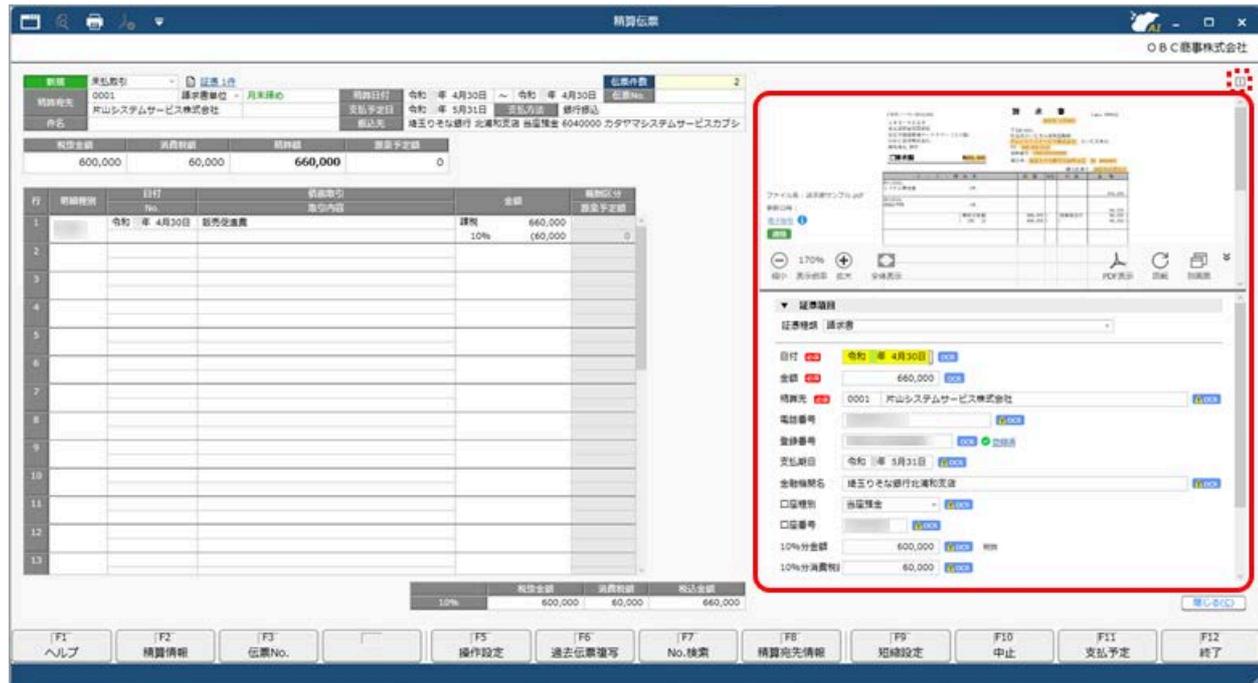
また、「精算額」に加えて、「税抜金額」や「消費税額」もチェックされます。

差額が発生している状態で複数の明細行を入力する場合は、金額変更時や新しく入力する明細行の金額欄に差額が自動で表示され、入力をサポートします。

対応メニュー

【精算伝票】メニューの、証憑と証憑項目の上下分割表示

証憑を添付した後の画面で、証憑と証憑項目を上下に分割して表示できるようになりました。



証憑の画面右上の (上下分割) ボタン、 (左右分割) ボタンを使用すると、表示方法を切り替えられます。

- (上下分割) ボタンを押すと上下に分割できます。
- (左右分割) ボタンを押すと左右に分割できます。

対応メニュー

[精算処理 - 精算伝票] メニュー

摘要明細だけの精算伝票を登録したい

明細種別が「4：摘要」の明細だけで、精算伝票を登録できるようになりました。

登録した伝票は、精算明細表で確認できます。

対応メニュー

[精算処理 - 精算伝票] メニュー

[精算処理 - 精算明細表] メニュー

伝票や精算明細表で、消込や銀行振込などの処理状況を確認したい

消込や銀行振込などの伝票の処理状況が、[\[精算伝票\]メニュー](#)や[\[精算明細表\]メニュー](#)などにアイコンで表示されるようになりました。

また、[\[精算明細表\]メニュー](#)・[\[支払一覧表\]メニュー](#)では、未処理・処理中の伝票件数を確認し、次の処理をするメニューへ直接ジャンプすることもできます。

処理状況を一覧で確認できるため、処理が必要な伝票を見つけやすくなり、次の処理をスムーズに始められるようになりました。

- 精算伝票
伝票の銀行振込済みの場合に、「振込済」アイコンが伝票の上部に表示されるようになりました。

行	明細種別	日付 No.	債務取引 取引内容	金額	振込区分 源泉予定額
1	購入	年 4月30日	仕入	55,000 (5,000)	0
2					

● 精算明細表・支払一覧表

「転記状況」・「振込状況」項目を表示できるようになりました。



1. 「〇〇状況」項目には、処理状況を示すアイコンが表示されます。
各項目は、[条件設定] 画面の [出力] ページの出力項目で追加します。
「転記状況」に表示されるアイコンについては、目的別記事「[仕訳伝票の転記状況（連携・作成の状況）を確認する](#)」をご参照ください。
2. 画面上の「〇〇状況」項目に応じて、未処理や処理中の件数が表示されます。
件数をクリックすると、次の処理をするメニューへジャンプできます。
3. [F6：伝票] または [F6：支払データ] をクリックすると、処理済の伝票を確認できるメニューが一覧で表示されますので、確認したい伝票のメニューへジャンプできます。
4. 項目の絞り込みやソートができます。

対応メニュー

- [精算処理 - 精算伝票] メニュー
- [精算処理 - 精算明細表] メニュー
- [管理帳票 - 支払一覧表]メニュー

メインメニュー右上の (データメンテナンス) から [汎用データ作成 - 精算処理 - 精算伝票データ作成] メニュー

支払処理

銀行振込後に出金明細を確認してから支払を計上したい

支払種別が「0：銀行振込」の支払方法で債務を支払う場合に、支払消込をしても債務残高は減らさずに、銀行振込FBデータを作成できるようになりました。

銀行振込後に、銀行から取得した出金明細と突合して支払データを確定することで、仕訳が連携できるようになり、会計帳票の債務残高が減少するため、厳密な債務管理が可能です。

出金明細を確認してから支払を計上する場合は、[\[債務管理規程\]メニュー](#)の [精算] ページで「債務支払の認識基準」を「出金確認時に認識する」に設定します。

詳細は、目的から探す「銀行振込後に出金確認をしてから支払を計上する」をご参照ください。

追加メニュー

[支払処理 - 銀行振込 - 出金確認] メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

対応メニュー

[法人情報 - 規程 - 債務管理規程] メニュー

[法人情報 - 規程 - 債務管理科目] メニュー

[支払処理 - 支払消込] メニュー

[支払処理 - 銀行振込 - 銀行振込] メニュー

『勘奉行クラウド』の[仕入管理 - 管理帳票 - 仕入債務残高一覧表] メニュー

銀行振込データのリストを出力したい

[\[銀行振込\] メニュー](#)で銀行振込データをExcelに出力できるようになりました。

画面左上にある (クイックExcel) をクリックして出力します。

対応メニュー

[債務管理 - 支払処理 - 銀行振込] メニュー

【銀行振込】メニューで出金先コードを出力したい

[銀行振込 - 条件設定] 画面の[項目選択] ページで、以下の項目を選択し、出力できるようになりました。
出金先コードは、「振込先コード」で出力できます。

銀行振込明細	振込先コード・振込先名・振込先事業所名・振込先略称
--------	---------------------------

対応メニュー

[債務管理 - 支払処理 - 銀行振込] メニュー

画面上の銀行振込データをソート（並べ替え）・フィルター（絞り込み）可能

[\[銀行振込\] メニュー](#)・[\[銀行振込一覧表\] メニュー](#)の画面上で、各項目の をクリックすると、その項目で画面上のデータをソート（並べ替え）・フィルター（絞り込み）できるようになりました。

画面上でデータをスムーズに確認できます。（画面上のソート・フィルターは、作成するFBデータやExcel出力には反映しません。）

対応メニュー

[債務管理 - 支払処理 - 銀行振込] メニュー

[債務管理 - 管理帳票 - 銀行振込一覧表] メニュー

奉行連携

勘定奉行

伝票の登録や承認と同時に、『勘定奉行クラウド』へ仕訳伝票を起票したい

『勘定奉行クラウド』の[業務連携入力] メニューで仕訳伝票を確認して起票する手順を、省略できるようになりました。

これにより精算伝票・支払伝票の登録と同時に、『勘定奉行クラウド』へ仕訳伝票を起票できます。

伝票の承認機能を使用している場合は、承認と同時に仕訳伝票が起票されます。

仕訳伝票を確認して起票する手順を省略するには、『勘定奉行クラウド』の[業務連携入力] メニューで対象データを選択し、 (設定) をクリックまたは[F3:設定] を押し、[基本] ページの「仕訳伝票の起票」設定を「〇〇仕訳の計上と同時に起票する」にします。

なお、ダッシュボードや[\[〇〇仕訳連携\] メニュー](#)から仕訳連携をしている場合は、仕訳伝票を確認して起票する手順だけを省略することもできます。

設定ごとの流れについては、目的から探す[「仕訳伝票を起票するまでの流れ」](#)をご参照ください。

対応メニュー

『勘定奉行クラウド』の[財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 業務連携入力]メニュー
ダッシュボード「本日までの仕訳未作成」カードの各伝票
[奉行連携 - 仕訳伝票 - 購入債務仕訳連携]メニュー
[奉行連携 - 仕訳伝票 - 支払仕訳連携]メニュー

仕訳伝票作成で連携不要なマスター情報の削除に対応

『勘定奉行Smart/勘定奉行11』との連携で、連携不要になった未使用の補助科目などのマスター情報を削除できるようになりました。

対応メニュー

[奉行連携 - 仕訳伝票 - 仕訳伝票コード設定]メニュー

汎用データ受入

精算伝票データの支払予定を受け入れる際に、支払方法や支払予定日だけを指定して受け入れたい

今までは、支払予定を受け入れる際は、支払方法・支払予定日・支払予定額の3つが必須でしたが、[\[精算先\]メニュー](#)の[精算]ページで支払サイト1が設定されていれば、支払方法・支払予定日のいずれかだけで受け入れできるようになりました。

- [\[精算先\]メニュー](#)で支払サイト2・支払サイト3が設定されている場合（支払サイトを分割する設定の場合）は受け入れできません。（金額による条件分岐には対応しています。）
- [\[精算先\]メニュー](#)の支払サイト1が未設定の場合は、支払方法・支払予定日が必須です。支払予定額の指定は不要になりました。

対応メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から[汎用データ受入 - 債務管理 - 精算伝票データ受入]メニュー

その他

メニュー構成・メニュー名を変更

証憑収集方法

受領請求書

変更前	変更後
[法人情報] - [規程] - [証憑設定] - [証憑収集方法]メニュー	[取引先管理] - [証憑収集方法]メニュー

メニューを選択する際の視認性と操作性を向上

メインメニューで第1階層を選択したときの、第2階層のメニューの展開方向が変わりました。第2階層が右側に表示されるようになり、第2階層を見ながら第1階層のメニューを選択できるようになりました。なお、サービス起動後初回は、第1階層のメニューを選択すると前回最後に起動していたメニューまで展開され、作業していたメニューをスムーズに起動できるようになりました。

変更前



変更後



(画面は、『勘定奉行クラウド』の画面です。)

文字と背景色のコントラスト比とフォーカス表現を調整

視認性向上のため、文字と背景色のコントラスト比を調整しました。また、フォーカス表現を破線から実線に変更しました。

変更前



貸借対照表		損益計算書	
コード	科目名	2025年 4月 発生	2025年 5月 発生
100	現金	0	0
101	小口現金	0	0
A1220	現金計	0	0

変更後



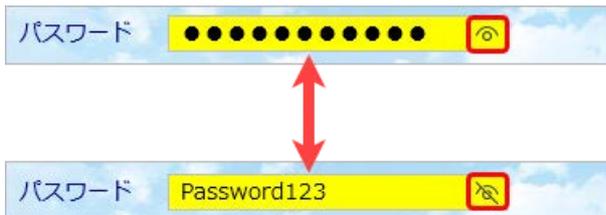
貸借対照表		損益計算書	
コード	科目名	2025年 4月 発生	2025年 5月 発生
100	現金	0	0
101	小口現金	0	0
A1220	現金計	0	0

(画面は、『勘定奉行クラウド』の画面です。)

パスワード可視化機能とCapsLock判定機能を追加

パスワードを入力できるすべての画面に、一律、以下の機能を追加しました。

- パスワードを表示できるようになりました。
目のアイコンをクリックすると、パスワードの表示/非表示を切り替えられます。



- [CapsLock] キーがオンになっていることに気づけるよう、『管理ポータル』などのWebアプリでも、メッセージが表示されるようになりました。



内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。